

第77番 道隆寺

●香川県仲多度郡多度津町北鴨1-3-30
☎0877-32-3577
●宿坊/なし



第78番 郷照寺

●香川県綾歌郡宇多津町1435
☎0877-49-0710
●宿坊/なし



沿線の見どころ



丸亀城

慶長2年(1597)に高松城の支城として生駒親正が築城を始め、5年後に完成、元和元年(1615)の一国一城令により廃城となったが、寛永18年(1641)に山崎家治が再建、万治3年(1660)に京極高和が現在の天守を完成させた。「石垣の城」とも称され、美しい石垣は高さ日本一。風格の漂う三層三階の天守は現存木造12天守のひとつとしても知られる。

☎ 香川県丸亀市一番丁
0877-22-0331(丸亀市観光協会)
📺 見学自由
📺 無休
📺 大人200円、小人(中学生以下)100円、20人以上の団体は2割引



沿線の見どころ



中津万象園・丸亀美術館

丸亀藩京極家の二代目藩主京極高豊が築いた、約1万5000坪の池泉回遊式大名庭園。八景池に配した8つの島や茅葺き屋根の母屋などが雅な風景だ。「味処 懐風亭」からも風情を楽しめる。園内にある「丸亀美術館」には、フランス絵画を常設する絵画館、古代オリエントの陶器を展示した陶器館があり、見どころ満載。

☎ 香川県丸亀市中津町25-1
金倉寺から県道33号線経由、北方向に約4.3km
☎ 0877-23-6326
📺 9:30~17:00
📺 休 水曜
📺 中津万象園:入園料大人700円、絵画館:大人500円



境内の見どころ



びんずるさま

真っ赤な姿が目をはひく「びんずるさま」は、釈迦の直弟子であり、自らも1000人ほどの弟子を育てた羅漢の一人。「なで仏」とも呼ばれ、病気の人が「びんずるさま」の像をなで、その手で自分の悪いところをさすると、平癒するといわれている。本堂入り口の左側にあり、誰でも触れることができる。



参道沿いから本堂脇、裏まで観音像がずらりと並ぶ

第77番

桑多山 道隆寺

そうたざん みょうおういん どうりゅうじ

眼なおしの秘仏「二体薬師」の寺

歴史・全体像

和銅5年(712)、当時の領主・和氣道隆が、夜ごと怪光を放つ桑の木で薬師如来の小像を刻み、堂を建てて安置したのが始まり。道隆の子・朝祐は、唐から帰国した弘法大師に師事した。大師は自ら刻んだ薬師如来の胎内に道隆の薬師如来を納め、本尊とした。一体の像の中にもう一体の像があることから、この薬師如来は腹ごもり薬師、二体薬師とも呼ばれ、50年に一度開帳される秘仏となっている。また、「眼なおし薬師さま」とも呼ばれ、全国から眼病平癒祈願の信者が訪れる。その由来には、幼少の頃に盲目だった丸亀京極藩の京極左馬造公がこの薬師如来に祈願したところ、全快したという話が残る。

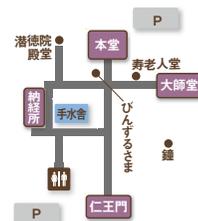
御詠歌/願いをば仏道隆に入りはてて菩提の月を見まくほしさに
本尊/薬師如来
真言/おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派/真言宗醍醐派
開基/和氣道隆



本堂左には、「びんずるさま」が鎮座

境内

かつては広大な寺域を誇ったが幾多の戦禍に遭い、現在の諸堂は江戸時代に歴代住職の尽力によって再建されたものである。県道沿いに本堂、大師堂、鐘楼、多宝塔などの伽藍が配置されているが、300mほど離れた畑の中には本坊と護摩堂が残っている。参道沿いには、255体の観音像がずらりと並んでいる。本堂に向かって右手にある大師堂は寛永7年(1630)に建立したものの、堂の前には、弘法大師と衛門三郎の像がある。納経所は本堂に向かって左側、参道から少し離れたところにある。本堂を左にまわって歩くと、港徳院殿堂(せんとかいんでんどう)が見える。



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

